



# Amazing Chemicals

- 低ハロゲン化による環境対応 高純度エポキシ樹脂 [アデカレジジン シリーズ]
- ハロゲンフリーで環境と安全に配慮 プラスチック用難燃剤 [アデカスタブ FP-2000シリーズ]
- 鉛化合物を含まない 環境対応型硬質塩ビ用安定剤 [アデカスタブ RXシリーズ]

お問合せ先  
株式会社 ADEKA  
〒116-8554 東京都荒川区東尾久7-2-35  
http://www.adeka.co.jp

【高純度エポキシ樹脂】  
【プラスチック用難燃剤】  
【塩ビ用安定剤】

基礎三G  
難燃剤IG  
可塑剤・安定剤G

Ta (03)4455-2843  
Ta (03)4455-2846  
Ta (03)4455-2848

**ADEKA**  
Amazing Chemicals

# 100年 ミッション



100年前、空気分離技術による酸素の生産から始まった大陽日酸の歴史は、鉄鋼、化学、エレクトロニクスなどの基幹産業の成長とともに歩み、その間、ガス供給にとどまらず、プラントやMOCVD装置、排ガス処理装置など関連機器も同時に開発。今や国内はもとより北米、欧州、中国、東南アジア、インドなどグローバルに事業展開するガス総合メーカーへと成長しました。そして現在、私たちが切り開いてきた高度なガス製造・制御技術が、再生可能エネルギー・超電導・高度先端医療・IT・宇宙開発に貢献しています。これからの100年、食料・健康・環境・IT・エネルギーのためにガスで未来を拓く。それが私たちガスプロフェッショナルのミッションです。

**大陽日酸**  
The Gas Professionals

東京都品川区小山1-3-26 東洋Bldg.  
TEL.03-5788-8015 www.in-sanso.co.jp

# 高精度で高精細

# ディスプレイ

スマートフォンやタブレット端末の普及拡大に伴い、タッチパネル市場が活況を呈している。富士経済が2月に発表した調査によると、12年のタッチパネルの世界市場は前年比5割増の5265億円に成長した。17年には8533億円に拡大する見通し。特にスマートフォンやタブレット

## タッチパネル

## スマホ普及で活況

量産化や薄型化につながる製品や技術に対する需要が高まりつつある。電気化学工業はスマートフォンなどに使うタッチパネルの切断加工用の接着剤を用い、受託加工までを一手に引き受ける事業が好調だ。軽量・薄型化につながるカバールラス・体型タッチパネルを効率的に生産できるのが特徴。13年度は国内外

の協力工場の生産能力を最大で現状比倍増の月産300万枚に高める。住友化学は13年度上期に韓国拠点のタッチパネ

スマートフォンなどに使われる中小型パネル用途で、すでに一定規模の市場を確立した有機ELディスプレイ。大型の有機ELテレビが韓国のLG電子から発売されるなど、テレビ向けも注目される。有機ELの材料を手がける化学メーカーはこれまで以上に材料開発や生産体制の確立に力を入れる。

## TV向けに量産化進む

住友化学は15年の有機ELテレビ市場の本格化

を見据え、大阪工場に量産設備を導入した。パナソニックが1月に発表した56型の大型有機ELディスプレイには、住友化学が手がける独自の高分子材料が採用されたことが明らかになっている。住友化学の事業会社のJNCやメルクといった液晶を扱う大手も有機EL材料を手がける。JNCは12年夏に水俣製造所(熊本県水俣市)で同材料の製造設備を稼働させた。同時に緑色の発光材料などの開発を進めている。

## 有機EL

米調査会社のNPDディスプレイサーチは中小型パネル全体を占める有機ELパネルの比率は、15年に現状の約2倍の13%と予測。現在は韓国のサムスングループが独占供給しているが、ジャパニクスディスプレイなども中小型の有機ELディスプレイへの参入を計画する。

また、LG電子が有機ELテレビを発売したのに続き、サムスンやパナソニック、ソニーも有機ELテレビ投入を計画している。



大画面4Kテレビの圧倒的な迫力(東芝)

## 液晶

液晶ディスプレイは液で市場成長の継続が期待。液晶テレビ市場の大画面化される一方、スマートフ

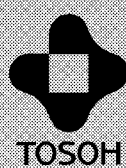
ンやタブレット端末向け高精細な中小型パネルが急成長を遂げている。そのため、今後も液晶パネル用部材を注力事業に位置付ける化学メーカーは多い。DICは液晶パネル向けに液晶やカラーフィルター用原料を手がける。液晶は今後も一定の市場拡大が見込めることから、2012年度までの前中期経営計画と同様、15年度までの新中計でも重点事業に定める(中西義之社長)。

## パネル部材に注力

オンやタブレット端末向け高精細な中小型パネルが急成長を遂げている。そのため、今後も液晶パネル用部材を注力事業に位置付ける化学メーカーは多い。DICは液晶パネル向けに液晶やカラーフィルター用原料を手がける。液晶は今後も一定の市場拡大が見込めることから、2012年度までの前中期経営計画と同様、15年度までの新中計でも重点事業に定める(中西義之社長)。

考え、カラーフィルター用原料では高い世界シェアを持つ緑色に続き、青色用の開発に注力する。信越化学工業が2月末にサンブル出荷を始めた発光ダイオード(LED)向けシリコン製の封止材と実装基板、主な用途の一つは液晶テレビ用バックライトで、耐光性や耐熱性の高さを生かせる。加えて、スマートフォンやタブレット端末向けの中小型パネルも伸びている。東レは高精細カラーフィルターがスマートフォン向けを中心に出荷を伸ばしている。JSRも光配向膜の拡販に力を入れている。光配向膜は高精細な中小型パネルの製造に適している。また、日本ゼオンでは、小型の液晶パネル向けに視野角改善や光反射防止用の位相差フィルムが必要が拡大。これを受け、14年3月に福井県敦賀市に位相差フィルムの新工場を稼働させる計画だ。

## 電子材料



TOSOH

空の下には、暮らしがある。

笑っている人、泣いている人、怒っている人。目には見えないけれど、しっかりと見えていきたい。この空の下には、たくさんの暮らしがあることを。そのひとつひとつに、かけがえのない時間が流れていることを。化学は、どこまで人にやさしくなるのだろうか。

人、社会、地球のための化学へ。

## 育てています、いろんな未来。

産業の未来を育てます。

技術・製品・企業活動をさまざまなSHINKA(進化・深化・新化)させ、自然環境と調和したより豊かな社会の実現に貢献し続ける積水化学グループ。

私たちは今、未来づくりへの新しい取り組みを次々と育てています。

たとえば、独自技術を高度に融合させた高付加価値製品。車両分野の高機能中間膜、IT分野の導電性微粒子、医療分野のコレストロール検査薬など、世界トップクラスのシェアを誇り、幅広い産業の発展に貢献するこれらの製品はすべて、微粒子技術、粘着技術、精密成形技術といった高度なコア技術が初めて可能にしたものです。オンリーワンの技術で世の中に新たな価値をもたらすために。積水化学グループはさらにSHINKAを続けます。

真価を示し、次代を創る。SHINKA その先へ――

# SEKISUI

積水化学工業株式会社

〒105-8450 東京都港区虎ノ門2-3-17(虎ノ門2丁目タワー)  
お客様相談室: TEL.03-5521-0505(東京)/TEL.06-6365-4133(大阪)  
http://www.sekisui.co.jp/ 積水化学 検索